

地域懇談会の開催概要

地 区	第五中学校区
開 催 日 時	令和 6（2024）年 7 月 31 日（水）午後 6 時 30 分～7 時 58 分
開 催 場 所	中鯖石コミュニティセンター
参 集 人 数	4 2 人
市 側 出 席 者	市長、総合企画部長、課長代理、主査

1 市長の施政方針の補足・追加説明

【市長】

「産大附属高校甲子園初出場」「中学校ごとの高齢化率」「柏崎総合医療センター」「第五中学校区の市の事業」等について説明しました。

2 地域からのテーマ

※事前に提出されたテーマについて市長が回答

（1）国道 2 5 2 号高柳町始発バス時間の変更について

【説明者】

路線バスのダイヤ改正に伴い、岡野町車庫前線の始発バスが 3 0 分遅くなり、午前 7 時 0 0 分発になりました。駅から離れた高校に通う生徒や冬場には学校の始業時間に間に合わないことが考えられますので、従来のに間に合っていた時間に戻していただきたいお願いです。

【市長】

運転士不足などにより、令和 5（2023）年 4 月のダイヤ改正において、岡野町車庫前発の 6 時台の便が減便となりました。しかし、柏崎駅前への到着時間は、7 時 5 0 分であり、通学に影響がないダイヤ編成であります。各学校への乗り換えと登校時間を確認しましたが、余裕のある接続時間であります。高校生の通学に影響があるなどの要望があった場合は、できる限りの対応をさせていただきます。

（2）東部地域交通鯖石線の利便性向上をしっかりと図ってください。

【説明者】

今年 4 月から、柏崎市が運営する東部地域交通に移行しましたが、週に 2 回の

運行ということで、利用が少ない状況です。市内で運行している「あいくる」は、使い勝手の良い交通手段だと聞いております。それを東部地域交通に組み入れていただけるか、今後についてお伺いしたいと思います。

【市長】

東部地域交通は、火曜日と木曜日の週 2 回、久木太から柏崎駅南口まで運行する中鯖石線と杉平から柏崎駅南口まで運行する北条線の 2 路線で運行をしています。利用状況は、北条線が 1 日平均 10.6 人に対して、中鯖石線は 2.8 人で、利用者が少ないのが実態です。認知度不足もあると思いますので、一部の沿線町内会に周知を図るとともに、フリー降車のサービスを開始したところです。「あいくる」については、延長、接続などさまざまな手法を検討していますので、令和 6（2024）年中に一定の考え方を示したいと思います。

（３）平成 17 年の水害に対する、排水路整備について

【説明者】

中鯖石地区の水害対策として、平成 27 年 12 月に関係集落から市へ要請しております。令和 2 年 12 月に市農林水産課から水害対策排水路の設置説明がありました。また、関連する圃場整備事業における排水路計画も説明がありました。しかし、その後は、進捗状況の説明がありません。現状の経緯と今後の推移を具体的に教えていただければと思います。

【市長】

事業主体の県と市で 10 月下旬を目途に地元説明会を開催させていただきます。排水路整備の進捗については、令和 3（2021）年度から始まり、令和 4（2022）年度に排水路の実施設計、令和 5（2023）年度は国道を横断する一部の工事を進め、令和 16（2034）年に完成する大事業であることをご了解いただきたいと思います。

（４）旧南鯖石小学校跡地の屋外プールについて

【説明者】

屋外プールは、維持管理されず草木が生い茂っています。衛生的には今の所なにもありませんが、不審者が入って不測の事態が起きた場合にどうなるかと思います。取り壊しをお願いしたいのですが、検討をお願いしたいと思います。

【市長】

現在、旧南鯖石小学校施設に興味を持っている民間事業者があります。事業者が使用しない場合は、危険防止のために壊すこともあり得ますが、現時点ではありません。市は、引き続きプールを含めた利活用の提案を行いたいと考えています。今後、危険箇所への侵入防止の策や注意看板などを設置し、定期的に除草や草刈りなどを行い、管理していきたいと考えています。

（５）原子力災害時における避難経路について

【説明者】

柏崎市防災ガイドブック自然災害編に鯖石川流域大沢地内において、河岸浸食想定区域があります。国道２５２号との近接箇所では河岸浸食が進んでいる状況となっております。大事な避難経路である国道２５２号が機能しないではないかと思われましたので、市と県と対応協議や連携をしているのか確認させてください。

【市長】

国道２５２号の管理者である新潟県に確認したところ、「物流や観光および地域の生活を支える路線であり、現在、大沢、高柳岡田間で道路改良工事を実施しています。ご指摘の河岸浸食が進行している箇所は、パトロールにより道路の状況の確認を行っている」との回答でした。市は、安全な道路を確保するため、道路整備は大変重要と考えています。ご心配されている箇所は、令和２（２０２０）年度から県に道路の拡幅を要望しています。今後もパトロール強化とともに引き続き道路拡幅を県に要望していきます。

３ 自由懇談

「大型バスの運行について」「「あいくる」について」「ほ場整備の関係」「「あいくる」の導入について」「ほ場整備における市と県の連携について」「原発の避難経路について」「原発災害に備えた電光掲示板の整備について」について懇談しました。